
羽田空港支局の現状と課題



令和元年12月
東京出入国在留管理局
羽田空港支局

羽田空港支局の現状

1 沿革等

昭和27年 8月 1日	東京入国管理事務所羽田空港出張所として開設
昭和36年 6月 5日	同出張所廃止，羽田入国管理事務所設置
昭和53年 5月20日	成田空港開港に伴い，同事務所廃止 東京入国管理事務所羽田空港出張所設置
昭和56年 4月 1日	組織改編により東京入国管理局羽田空港出張所設置
平成22年 4月 1日	組織改編により東京入国管理局羽田空港支局設置
平成22年10月21日	現国際線ターミナル（旅客・貨物）供用開始 羽田空港C I Q棟にて業務開始
平成22年10月31日	国際定期便就航
平成26年 3月30日	国際線発着枠の拡大（年6万 9万）
平成31年 4月 1日	組織改編により東京出入国在留管理局羽田空港支局に名称変更
令和 2年 3月	国内線第2ターミナルビルの拡充（国際線就航）予定

2 施設概況

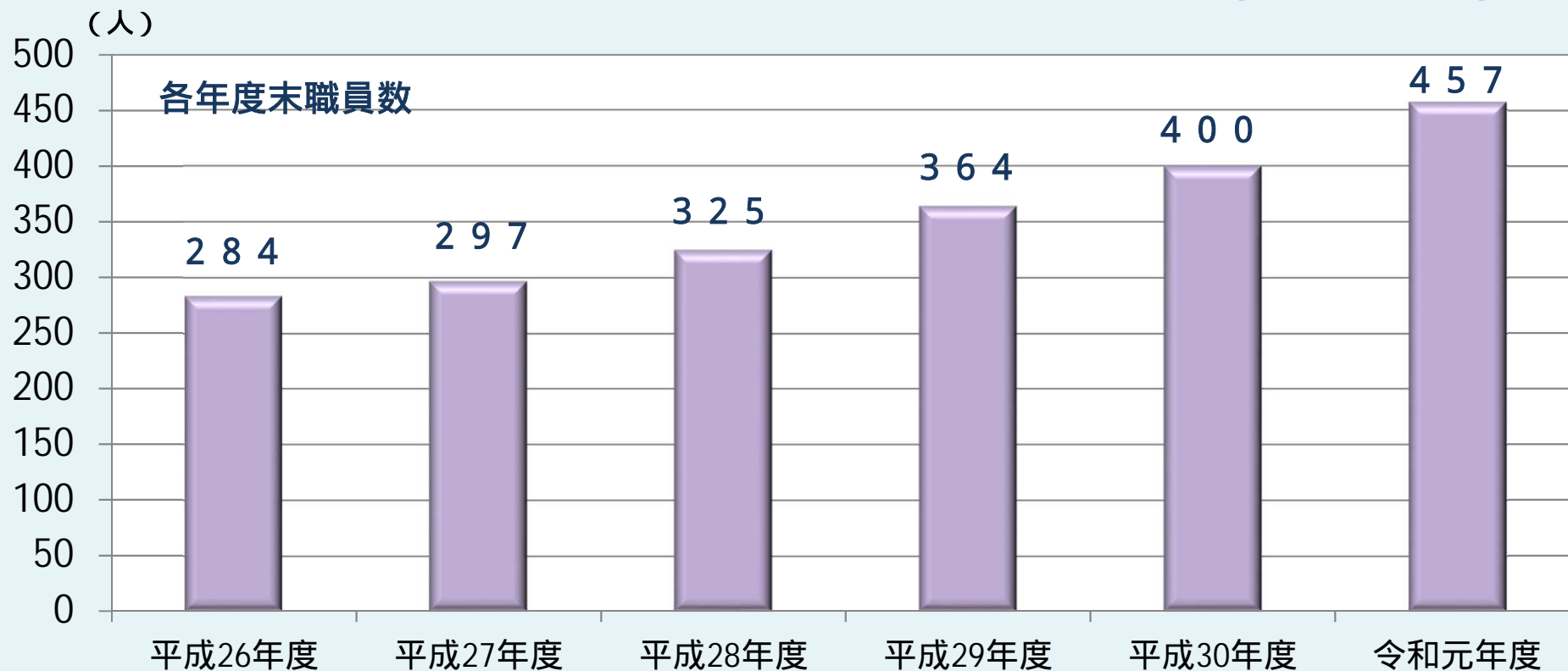
(1) 羽田空港ターミナルビル官庁総面積	16,802 m ²
(うち入管専用面積)	5,421 m ²
(2) C I Q棟面積	13,042 m ²
(うち入管専用面積)	1,652 m ²

羽田空港支局の現状

3 組織・職員数

支局長の下に次長，審査監理官，総務課，偽変造文書対策室，審査管理部門，第一～第七審査部門，審判部門及び警備部門が置かれている。

職員数 457名（令和元年度末）



羽田空港支局の現状

4 施設等

(1) 現状

【上陸審査場】

審査ブース	56ブース(中央56)
顔認証ゲート	10台(中央10)
指紋認証ゲート	4台(中央4)
バイオカート	43台(中央43(R元.12))

【出国審査場】

審査ブース	28ブース(中央22+北6)
顔認証ゲート	16台(中央13+北3)
指紋認証ゲート	6台(中央4+北2)

(2) 今後の予定

【上陸審査場】

審査ブース	83ブース(27ブース増(R2.3))
顔認証ゲート	14台(4台増(R2.3))
指紋認証ゲート	4台
バイオカート	63台(20台増(R2.3))

【出国審査場】

審査ブース	40ブース(12ブース増(R2.3))
顔認証ゲート	23台(7台増(R2.3))
指紋認証ゲート	6台



顔認証ゲート



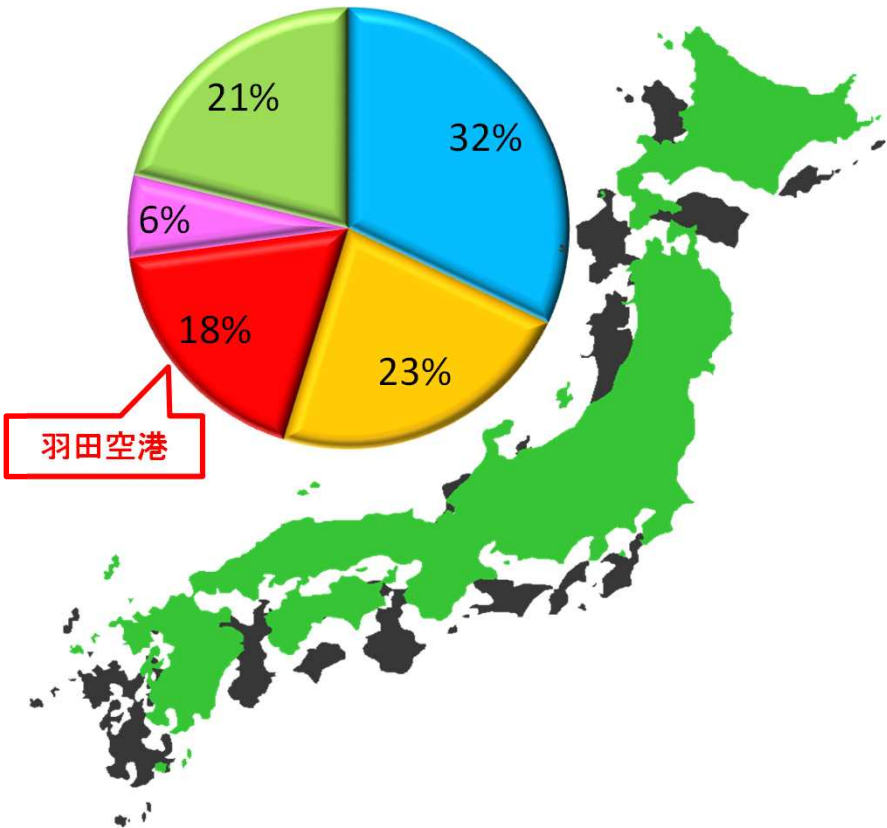
バイオカート

羽田空港支局の現状

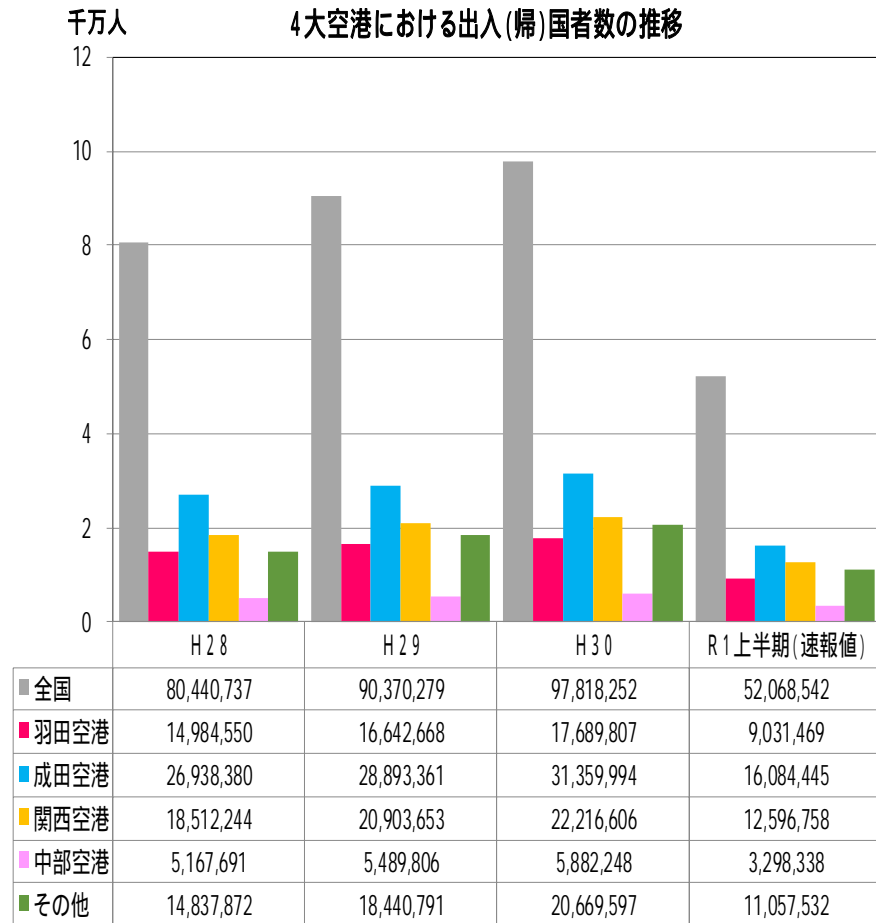
5 4大空港における出入（帰）国者数の推移

全国に占める出入（帰）国者数の割合（H30）

■ 成田空港 ■ 関西空港 ■ 羽田空港 ■ 中部空港 ■ その他

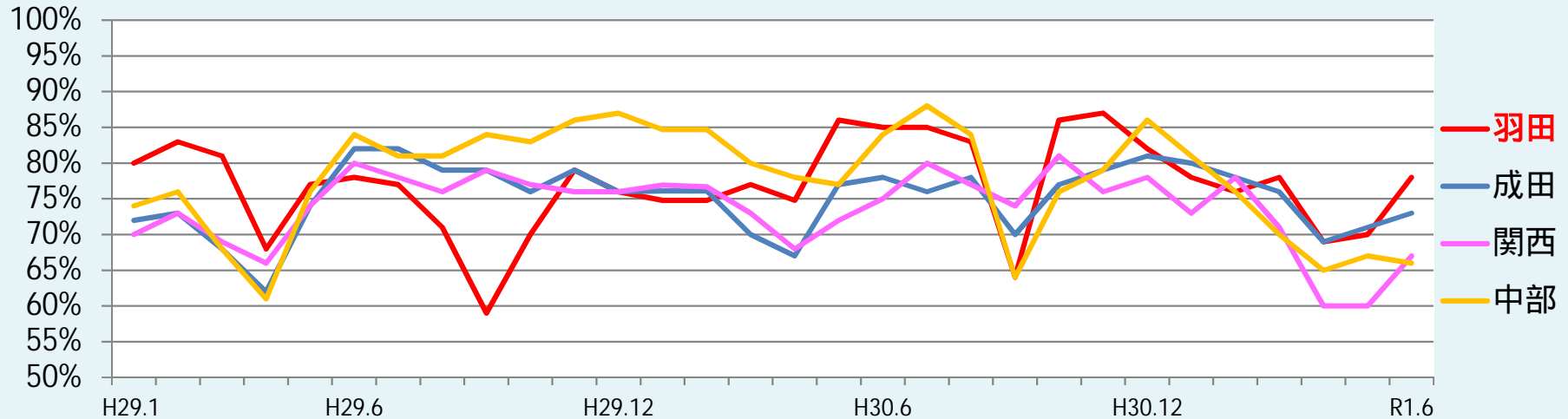


4大空港における出入（帰）国者数の推移



羽田空港支局の現状

6 4大空港における入国審査待ち時間20分以内達成率の推移



	平成29年		平成30年		令和元年
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期
全国平均	72%	76%	76%	79%	75%
羽田空港	77%	72%	79%	81%	75%
成田空港	71%	79%	74%	77%	74%
関西空港	72%	77%	74%	78%	68%
中部空港	73%	83%	81%	79%	70%

羽田空港支局の課題とその対策 1

1 審査待ち時間の更なる短縮

(1) ソフト面

24時間空港ならではの特征として、審査場が混雑する時間帯は、早朝、昼、夜間と広範囲にわたり、夜勤担当のみではなく、日勤担当を拡充するなど、より細かなニーズに対応できるよう、効率のよい人員配置について検討を重ねている。

(2) ハード面

平成30年及び令和元年に顔認証ゲートを計26台導入し、従来、日本人の審査を行っていた審査官を外国人上陸審査ブースに増配置。

更に、本年度内に11台（上陸4台、出国7台）を増配置予定。

令和元年12月に、上陸審査場にバイオカート43台を導入。同機器を活用することにより、審査時間を従来の3分の2程度に短縮することが可能。

更に、令和2年3月に20台を増配置予定。

その他、令和2年3月、審査ブース39ブース（上陸27ブース、出国12ブース）を増設予定。

これにより、より円滑な出入国手続を実施することが可能。



顔認証ゲート

羽田空港支局の課題とその対策 2

2 厳格な入国審査の更なる強化

(1) ソフト面

ブラックリスト等を活用した厳格な上陸審査の実施

- ・ 入管庁として、警察等関係機関から情報を得るなどし、ブラックリストを拡充
(注) テロリスト等の顔画像情報も含む。
- ・ 当該リストを事前旅客情報(API)と照合し、慎重審査対象者の存否を確認
(注) API：航空会社から提供される氏名、生年月日、国籍等の旅客情報
- ・ 乗客予約記録(PNR)を入管庁が保有するその他の情報と合わせて分析等を実施
(注) PNR：航空会社から提供される予約番号や旅行日程等を含むより詳細な予約情報
- ・ 更に、支局において独自に不法残留者の傾向分析等を行い、厳格な上陸審査を実施
(参考) 羽田空港支局における上陸拒否者数：H26 586件、H30 1,177件

偽変造文書対策に係る研修等の実施

入国審査官の能力向上のため、偽変造文書対策室職員による研修等を実施

警察を始めとした関係機関との連携強化・合同訓練の実施

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、更なる合同訓練の実施を検討中。

(2) ハード面

平成30年12月、ブースのすり抜け・逆流防止センサー等の設置

【参考資料1】THE WORLD'S BEST AIRPORT IMMIGRATION(2019)

世界550空港の中で「出入国管理」の優れた空港トップ10(注)

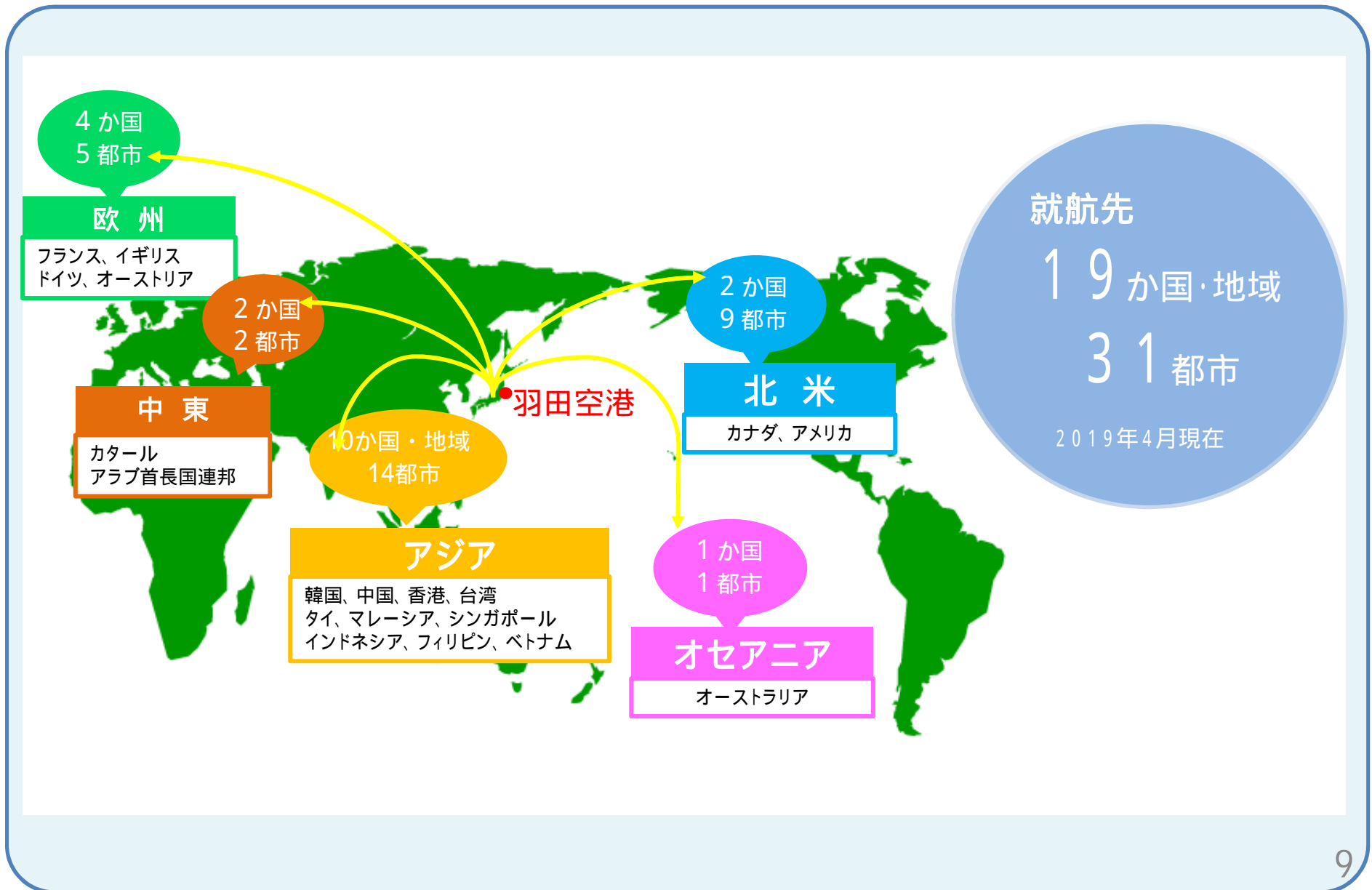
順位	空港名	都市	国・地域名
1	香港国際空港	香港	中国
2	新東京国際空港	成田	日本
3	東京国際空港(羽田空港)	東京	日本
4	台湾桃園国際空港	台北	台湾
5	仁川国際空港	ソウル	韓国
6	中部国際空港(セントレア)	名古屋	日本
7	チャンギ国際空港	シンガポール	シンガポール
8	コペンハーゲン国際空港	コペンハーゲン	デンマーク
9	ミュンヘン国際空港	ミュンヘン	ドイツ
10	関西国際空港	大阪	日本

(注)

英国に拠点を置く航空サービス・リサーチ会社「スカイ・トラックス社」が、毎年、航空旅客に各空港の満足度調査を行い、カテゴリー別に結果を公表しているもの(2019年の結果は、世界550空港を対象に100以上の国・地域の1,373万人の航空旅客の投票によって選定)。

上記表は「出入国管理」カテゴリーの順位である。

【参考資料 2】羽田空港の海外渡航先



【参考資料 3】羽田空港の全体図

